

授業科目(ナンバリング)	中国語 I A (AC115)			担当教員	韓 榮芝		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は、1年次から初めて学ぶ中国語の科目であり、2年次で開講される「中国語ⅡA・B」と「中国語会話」の前段をなすもので、中国語学習の“入門”に当たる。従って、この授業の到達目標は次の通りである。①中国語となる漢字の基礎構造とその発音の特徴を理解する。②様々なツールを使って、中国語の発音方法や基本文法を習得することができる。③中国語の語感を身につけながら簡単な対話ができる。これらを通して、中国や中国語圏域の各国の文化や現状に関心を持ち、中国人留学生と積極的にコミュニケーションを取り、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティの精神を身につけてもらいたい。							①②③⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	中国や中国語圏域の国々の社会情勢を的確に把握することができる。				レポート	10%	
コミュニケーション力	中国語の基礎表現(【拼音】を読む)をすることができる。中国語の会話(挨拶など)を活用した取り組み(本学の留学生との交流活動)に参加することができる。				授業参加定期試験	10% 50%	
協働・課題解決力	積極的に中国や中国語圏域の国々の歴史や文化理解のために共に取り組むことができる。				出席カードコメント欄の内容	10%	
多様性理解力	中国の文化などを理解し、本学の留学生と互いに交流を深めることができる。				小テスト プレゼンテーション	10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験の成績を50%とし筆記試験を行う(択一式、穴埋め式、など、持ち込み不可)。  小テストは、全部で5回、発表は授業毎に行う。基礎知識(語音とその意味、文法など)の確認を主とする。  課題レポートは、15回目にDVDで見た内容に関する課題を問う(課題レポートの成績を10%とする)。  授業毎に、中国語で出席を確認し、同時に書く練習や発音の練習を加え、練習課題の提出を求め、グループワークやプレゼンテーションを行い、授業への参加意欲を評価材料とする。また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオでも、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど)は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>教科書に従って授業を進めるが、必要に応じて配布プリントやDVDプレイヤーなどをもとに解説する。授業の各回において、前回までの学習内容を復習しながら発音の練習を強化する。授業中に学生個々に対して発音の練習や発表を行う。授業の主な時間を発音に充て、夏休みまでに基本的な表現を一通りマスターする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社  参考書：必要に応じ指示する  指定図書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>近い将来、観光業界などで活躍するために、中国語の習得も条件の1つであろう。また、グローバル化が進んでいる今日、中国や中国語圏(シンガポール、マレーシアなど)の国々に対する理解においても重要な科目である。中国語を身につけるには、教室の勉強だけでは足りないと考えられるので、自ら中国語の面白さを見つけて、積極的に勉強することが望ましい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス 中国語の発音 声調	授業の進め方及びスケジュールを把握する 音節及びその構造・表音字母名称表・4種類の声調 (四声の変化)について学ぶ。	・CD 1-1 を聞き、声調の練習を行 い、耳に慣れておく ・母音(36)の練習を行う
2	中国語の発音 母音	単母音・二重母音・三重母音・尾音を持つ複合母音声 母を学ぶ。グループワークで発音練習を確かめ合う。	・CD1-2 の発音を聞き、耳に慣れる ・21 個の子音の練習 ・小テストの準備
3	中国語の発音 子音	唇音・舌尖音・舌根音・舌面音・そり舌音・舌歯音を 学ぶ。小テストをする。	・CD1-3 の発音を聞き、耳に慣れる ・母音(36)の練習を行う
4	中国語の発音と語感	単語の発音及びご挨拶の言葉について学ぶ。プレゼン テーションを行う。	・CD を聞き、耳に慣れる ・教科書 P 20～23 の復習 ・小テストの準備
5	名詞述語文 その 1	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・CD2-1～2-2 を聞き、耳に慣れる ・P24～27 の予習
6	名詞述語文 その 2	テーマにおける文法と基本構文	・CD2-3～2-4 を聞き、耳に慣れる ・P28～31 の予習
7	名詞述語文 その 3	テーマにおける文法と基本構文 名詞述語文についてプレゼンテーションを行う。	・CD2-5～を聞き、耳に慣れる ・P32 の予習 ・小テストの準備
8	形容詞述語文	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・CD2-8 を聞き、耳に慣れる ・P38 の予習 ・小テストの準備
9	動詞述語文	テーマにおける文法と基本構文 形容詞及び動詞述語文についてプレゼンテーションを 行い。	・CD2-9 を聞き、耳に慣れる ・P38～の予習 ・小テストの準備
10	数字	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・CD2-10 を聞き、耳に慣れる ・P40 日付についての予習
11	日付	テーマにおける文法と基本構文	・CD2-11 を聞き、耳に慣れる ・P41 からの予習
12	時間	テーマにおける文法と基本構文 数字、日付、時間の言い方についてプレゼンテーショ ンを行う。	・CD2-12 を聞き、耳に慣れる ・P44～発音の復習と文法のまとめ ・小テストの準備
13	発音の復習	小テストをする 「発音編」と「基本編」の復習	・CD1-17 を聞き、耳に慣れる ・P50～の予習
14	文法のまとめ	中国文の構造(品詞：動詞、名詞、形容詞など)及び用 例小テストをする	・主語・述語・目的語・限定語・状 態語・補語についての復習 ・定期試験の準備
15	まとめ	前期の学習内容の振り返り、重要な発音と挨拶などの 総復習 中国の事情について(DVD)	・CD を聞き、本文を熟読、練習問 題をする ・DVD 観賞 ・課題レポートの作成
16	定期試験	筆記試験	・試験のための準備

授業科目(ナンバリング)	中国語 I A (AC115)			担当教員	※劉 雲楓		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業では、初めて中国語を学ぶ人を対象として、発音とその表記法（ピンイン）、入門レベルの文法と表現形式を学び、アクティブラーニングの方法をもとにコミュニケーション能力の向上を図ることをねらいとしている。また、中国および漢語圏の各国・地域の歴史・社会・文化の諸相を多面的な視野から考察するために、必要な視点や基礎的な知識を学習する。							②③⑧ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンインを正しく読み書きすることができる。</li> <li>・自力で中国語の短文を朗読することができる。</li> <li>・簡単な会話ができるようになる。</li> </ul>				・中間試験	20%	
情報収集、分析力	中国語の表現・理解の習得を図り、漢語圏の各国・地域の歴史や文化の学習に積極的に取り組むことができる。				・課題レポート	5%	
コミュニケーション力	これから経験する言語活動の学習により、基礎的な中国語会話能力を身に付けるとともに情報発信力を付けることができる。				・発表 ・小テスト	20% 20%	
協働・課題解決力	中国語の基礎表現（読み・書き）と活用を図り、中国語の特性の理解に努めるとともに互いに交流を深めることができる。				・授業態度・授業への参加度	5%	
多様性理解力	中国語を学ぶことを通して、中国及び漢語圏の社会、文化などに関心を持ち、異文化を理解できる。				・定期試験	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>小テストは、第2回目から毎回行う。単語を主とする。  中間試験は、1 回行う。基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。  定期試験は、筆記試験で、教科書や資料などの持込み不可。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>この授業は中国語の基本である発音を身につけ、簡単な日常会話を習得させると同時に、これを通じて現代中国の文化や社会について理解させることを目標とする。授業方法としては、教科書を用いた指導を基本とする。内容が理解しやすいように、要点をパワーポイントによって解説し、定期的にプリント、視聴覚教材を用いることがある。また、課題レポートや小テストのフィードバックは授業中に適宜行う。  この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう！』朝日出版社  参考書：授業を通して指示する  指定図書：陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう！』朝日出版社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>中国語は正確な発音の習得が成否を決定する。授業の前も後も音読をしっかりと行ってください。多くの漢語圏の観光客が日本を訪れて、日本国内の企業が中国語に堪能な人材を今求められている。積極的に学んでください。教科書は各自必ず購入してください。購入しない場合には受講を認めません。  授業中の私語、睡眠、理由のない遅刻、欠席、途中退室は認めません。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	挨拶1「你好」	中国語とは 音節、声調について	予習:シラバスを読んで おく。テキスト P2~7 の 予習
2	挨拶2「明天見」	声調の変調 単母音、複母音、ピンイン書き方の変化	予習:P7~10 復習:四つの声調変化
3	挨拶3「谢谢」	子音(1~14)、無気音と有気音 声調記号のつけ方	予習:P12~14 復習:母音、eの発声の変化
4	挨拶4「好久不见」	子音(15~21)、 鼻音、r化	予習:P16~18 復習:子音の発音
5	紹介1「迎接」	人称代名詞 姓とフルネームのいい方、たずね方	予習:P20~22 復習:鼻音、n/ng
6	紹介2「欢迎会」	動詞「是」 助詞「的」 中国語の平叙文	予習:P26~28 復習:人称代名詞
7	尋ねる1「打的」(1)	中国語の基本語順(1) S+V+O 肯定文、否定文	予習:P30~32 復習:平叙文の構文
8	尋ねる2「打的」(2)	中国語の基本語順(1) S+V <sub>1</sub> +O+V <sub>2</sub> +O 疑問文、連動文	予習:P32~35 復習:否定文
9	尋ねる3「问路」	動詞「有」、「在」 前置詞「从」、「往」	予習:P44~46 復習:疑問詞、疑問文
10	尋ねる4「买东西」(1)	中間試験 数字 お金のいいかた(話し言葉、書き言葉)	予習:P48~50 復習:方位詞
11	数える1「买东西」(2)	模擬試験の解説 形容詞が述語になる文 副詞「很」、「非常」、「真」	予習:P51~53 復習:三桁以上の数字のい いい方
12	数える2「聊天」(1)	時刻、日付のいい方 数量詞	予習:P54~56 復習:形容詞
13	数える3「聊天」(2)	年齢のいい方 家族構成	予習:P57~59 復習:年月日、曜日、時刻
14	発音、文法の復習	発音の確認 動画鑑賞1	ピンインの発音、肯定文、否 定文、疑問文の復習
15	まとめ	動画鑑賞2 全体の重要事項の理解と確認	全体の復習、重要事項の確 認
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語 I A (AC115)			担当教員	※張 美玉		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音と言われている。大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎となる初級文法知識・実生活においてよく使われる表現をしっかりと身につけることや中国文化への理解を深めることを目指す。							①②③ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。</li> <li>中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。</li> <li>基本的な初級文法や語彙を習得し日常的な会話表現を身につける。</li> <li>日本中国語検定試験準4級を目指す。</li> </ul>				定期試験	15%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。</li> <li>様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。</li> </ul>				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声で積極的に会話練習や短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと固め、既習知識を活かし、中国語でコミュニケーションをとることができる。</li> </ul>				小テスト 定期試験	20% 20%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。</li> <li>中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。</li> </ul>				授業態度・授業への参加度	10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。</li> <li>非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。</li> </ul>				定期試験 課題レポート	15% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績を50%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可)</li> <li>課題を20%とし、課題提出状況によって評価する。</li> <li>小テストの成績を20%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第1回目の授業を除く)</li> <li>授業態度及び授業への参加度の成績を10%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。</li> </ul> ※ 小テスト、口頭練習など授業で行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料：教科書を基本資料とし、導入イラスト、カード、プリントなどを補助資料として授業を行う。</li> <li>進め方：「復習&gt;新出単語・本文&gt;文法解説&gt;ドリル&gt;答疑」の流れに従う。(変わる時もある)</li> <li>目標：①中国語の音声表記を完全マスターする ②入門レベルの文法と表現を習得する ③簡単な会話ができる。</li> <li>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</li> </ul>							
教科書・参考書							
教科書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書 参考書：特になし。適宜授業中に指示する。 指定図書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の発音を正確に身につけるために、教科書のCDを聞きながら実際に声を出して練習すること。</li> <li>予習と復習をすること(授業で習ったことを必ずその日のうちに復習する。そして最後にその日の学習の総仕上げとして「宿題」を完成してください)。また、時間の余裕があれば、次に学習する課の語彙と文法を見ておく。基本的な準備をしておけば、次の学習が効率的にできる。</li> <li>学んだ中国語を使って、中国人に話かけてみてください。習ったことをすぐ使ってみるという習慣をつけること。</li> <li>教科書以外の資料も活用すること。(例：参考書、辞書、歌、NHK、テレビ・ラジオ番組など)</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	第1課 発音(1)	四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	予習:教科書 p.6~9 シラバスの確認
2	第2課 発音(2)	軽声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	予習:教科書 p.10~13 復習:声調・母音1・子音1・簡単な挨拶1
3	第3課 発音(3)	「不」の変調 / 母音(3) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	予習:教科書 p.14~17 復習:軽声・母音2・子音2・簡単な挨拶2
4	第4課 発音(4)	第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	予習:教科書 pp.18~21 復習:変調・母音3・子音3・簡単な挨拶3
5	第5課 『発音の復習』	発音の復習	予習:教科書 p.22~25 復習:第1課~第4課 単元復習
6	第5課 『你叫什么名字?』	文法:判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	予習:教科書 p.26~29 復習:子音・母音・音節の基本構造・声調の組合せ
7	第6課 『你家有几口人?』	文法:家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	予習:教科書 p.30~33 復習:判断動詞・人称代名詞・疑問文・名前の聞き方
8	第5課から第6課までの復習	判断動詞「是」・人称代名詞・疑問文・名前の聞き方・家族の呼称・所有を表す「有」・年齢の尋ね方・答え方・疑問詞「几」・量詞「口」	予習:教科書 p.26~33; 復習:第5課~第6課 単元復習
9	第7課 『这是什么?』	文法:指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」	予習:教科書 p.34~37 復習:判断助動詞・名前の聞き方・年齢の尋ね方・答え方・「几」・「口」
10	第8課 『今年二〇一几年?』	文法:年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	予習:教科書 p.38~41 復習:指示代名詞[1]
11	第7課から第8課までの復習	文法:指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些”・「的」・年・月・日・曜日・名詞を述語とする文・数詞	予習:教科書 p.34~41 復習:第7課~第8課 単元復習
12	第9課 『你喝咖啡?』	文法:動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样?」	予習:教科書 p.42~45 復習:指示代名詞[1]・「的」・年月日・曜日・名詞を述語とする文・数詞
13	第10課 『这件毛衣怎么样?』	文法:形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	予習:教科書 p.46~49 復習:動詞述語文・程度副詞「也」「都」・「怎么样?」
14	第9課から第10課までの復習	文法:動詞を述語とする文・程度副詞「也」「都」・「怎么样?」形容詞を述語とする文・程度副詞 / 中国のお金	復習:教科書 p.42~49 第9課~第10課 単元復習
15	総合復習	前期内容の総復習	復習:前期の内容 (第1課~第10課)
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備